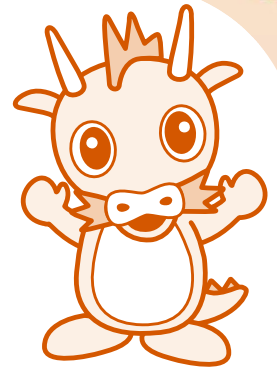
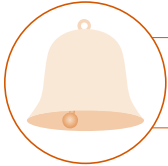


# 鐘の音

～かねのね～



vol.43  
2020.3 発行



大宮の古い地名「鐘塚」。そこに建てられた「パートナーシップさいたま」から男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、そんな願いを込めて名づけました。

## 令和2年度講座のご案内

講座のお申込み時期については、  
パートナーシップさいたまのホームページ  
でも随時お知らせします。詳しくはこちらへ➡



### ◆主催・共催講座

開催日	講座名	講師
4/2(木)	理系を目指す女子のための講座	芝浦工業大学生
4/22(水)、5/27(水)、6/24(水)、7/27(月)、8/31(月)、 9/28(月)、10/28(水)、11/25(水)、12/23(水)、 1/25(月)、2/15(月)、3/15(月)	傷ついた心のケア講座	西山さつきさん(NPO法人レジリエンス代表) 宇野慶子さん(蒼い空の会代表)
6/12、19、26、7/3、10、17(金)	女性カレッジ2020	熱田敬子さん(早稲田大学ほか非常勤講師)
6/14(日)	男女共同参画週間記念事業	名知仁子さん(NPO法人ミャンマーファミリー・ クリニックと菜園の会(MFCG)代表、医師)
7月	性暴力防止セミナー	未定
8/8(土)	女の子の命と安全を守る講座	くきCAP
9/1(火)、8(火)、15(火)、23(水)、29(火)	幼児を持つ母親のための講座	企画委員グループ ほか
10/16(金)	多様な性を知る講座	岩井紀穂さん(レインボーさいたまの会共同代表)
11/1(日)	DV防止セミナー	山寺香さん(毎日新聞記者)
11/20(金)	世界の女性とつながる講座	永山聡子さん(早稲田大学ほか非常勤講師)
12/12(土)	女性のアート表現講座	倉石聡子さん(アップコンセプト主宰)
12月	私の身体は私のもの講座	小林美希さん(ジャーナリスト)
1/15、22(金)	生き方を選ぶ／踏み出す講座	大森三起子さん(弁護士) 高山直子さん(心理カウンセラー)
2/18(木)	ライフキャリア講座	栗田隆子さん(女性の貧困問題・労働問題ライター)



### ◆出前講座 専門の講師を派遣します

ワーク・ライフ・バランス出前講座	さいたま市内の学校・事業所等へ、テーマごとに専門の講師をコーディネートします(講師料はさいたま市が負担)。お気軽にパートナーシップさいたまへお問い合わせください。
デートDV防止出前講座	
性の多様性出前講座	



## DV防止セミナー

### 『酔うと化け物になる父』がいる家で育って

父との生活が始まり、麻雀もしくくなりました。家事(毎日の買い物、ご飯作り、洗濯)もしてくれるようになりました。しかし、1ヶ月続きませんでした。近所のスナックで毎日飲むようになり、よだれを垂らしたり、酔い方がひどくなりました。朝は正常に出勤するのに、酔っぱらって会話ができない「化け物」になって帰ってくるので、いつもビクビクするような生活になりました。

父は営業を頑張るために酒を飲んでいました。平日は子供だけで過ごし、2階で寝ていました。土曜の夜には最大10人で酒、タバコを吸いながら麻雀を開始、母はおつまみを作ったり、灰皿を交換したりしていました。

小学5年の時に、母は子宮癌になり、手術で切りました。その時も父は気が弱いので麻雀をやっていました。中学2年の時に母は家出をしました。翌日には帰ってきましたが父は普通に新聞を読んでいた。何もなかったようにしていました。中学2年の10月に母は家の中で首を吊って死にました。私のせいで死んだと思います。今思うとこれは最大の暴力だったんだと思っています。

#### 〈講演要旨〉

父は営業を頑張るために酒を飲んでいました。平日は子供だけで過ごし、2階で寝ていました。土曜の夜には最大10人で酒、タバコを吸いながら麻雀を開始、母はおつまみを作ったり、灰皿を交換したりしていました。



令和元年11月17日(日)生涯学習総合センター多目的ホールで実施された『酔うと化け物になる父』がいる家で育ってという講演会に参加してきました。

会場は満員で、参加者の大部分は女性で男性は少数

私は高校卒業後はフリーター(日払い)になりました。父は私には無関心でした。24歳の時に付き合った人は、暴力を振るったり暴言を吐く人で、酒を5分で1本飲む人でした。彼は私に関心を向けてくれるので9年間付き合いましたが束縛してきたので別れました。

父は食道癌、肺癌になり、脳にも転移しているため、余命半年と宣告され、ついに酒をやめました。友達も来なくなりました。「飲まなくなったら来なくなつた友達って何なの」と思いました。知らないうちに借金を増やしたので怒りました。心を込めて介護は出来ませんでした。父が死んでから「私の方が化け物じゃないの」と思いました。死にたいと思いました。1年間私は泣いていました。断酒会に顔を出したらアルコール依存症の病気を知られるようになり、父はこの病気だったのではないかと思いました。ここでようやく自分の家庭環境がおかしかったことを自覚しました。他の「毒親育ち」の人たちはどうだったんだろう?という疑問が湧いたのが『酔うと化け物になる父がづらい』の出発点です。現在はカウンセリングにも通っています。

質問も全員に答えられない程多数寄せられ、TV局も来るなど、このテーマに対する世間の意識の高まりがうかがわれるとともに、私も得ることのある講演会でした。

(新藤 賢十郎)



『酔うと化け物になる父がづらい』  
菊池真理子著  
秋田書店(2017)

## Book Navi

情報コーナーで貸し出し中の図書のご案内です



### みんなの防災えほん

山村武彦監修 YUU絵 PHP研究所(2017)

災害はいつ来るかわかりません。地震、津波、台風、大雪などと今自分がいる場所で身を守る方法と対策が絵と文で分かりやすく書かれています。家族で話し合い、決まり事しておくのが一番の防災だと思いませんか!



### おもかげ復元師の震災絵日記

笹原留以子著 ポプラ社(2012)

もし災害がおきたら身近な人、家族を失うかもしれません。考えたくありませんが突然の別れに安置所で死を受け入れられなくて「この人違います…」と言いたくなります。亡くなった方の顔を復元する仕事の絵日記です。

(武田 礼子)

## 市民企画講座

### これも防災？ 暮らしから生まれる家族やペットを守る仕組み

令和元年10月20日に行われた、浦和〇〇部<sup>※</sup>主催「これも防災？ 暮らしから生まれる家族やペットを守る仕組み」(市民企画講座)に参加しました。

講師は、「動物支援ナース」の西村裕子さん。「動物支援ナース」とは、日本初の「認定動物看護師」による災害支援団体で、災害ボランティア団体として初めて埼玉県で認定されました。災害時に、ペットと一緒に避難された方と行政や動物嫌いの方との間に立つなど、動物災害支援活動に尽力されています。

#### 第1部：「日頃の行いが防災につながる！」

第1部で、本日の防災とは、「リーダーになること」と話されていました。状況に応じて正しい判断をし、自分で行動できるリーダーは、混乱する災害時に必要です。そのために、平日頃から防災対策の準備や避難場所の確認、災害情報アプリの利用、家族が離れ離れに被災した際の連絡方法など意識していくことが大切だと聞いて、改めて実感しました。

中でも、特に印象に残ったのは、ごくごく身近な地域で助け合う「近助」の話です。災害時に助け合えるご近所さんがいるか、家族が離れ離れに被災した時に助けてくれる人がいるか、地域のコミュニティの重要性を感じました。

また、ペットの同行避難で日常からすべきこととして、しつけや病気の予防、避難できる飼育数の把握のほか、犬は、呼び戻しや掛け声でのトイレの練習をすること、猫は、子猫の時にハーネスを練習しておくことや逃げ込みやすい場所を確認することなどあげていただきます。

#### 第2部：「避難所運営シミュレーション」

第2部では、参加者が2グループに分かれ、避難所の運営を模擬体験するグループワークを行いました。避難場所は学校避難所に案内します。グループの中でリーダーをはじめ、それぞれの係分担を決めていきました。被災者やペット、支援物資、マスコミなどがどんだんやってきます。

終了後、グループディスカッションを行い、良かった点、工夫・改善点をあげていきました。避難所である体育館のパーティションを居住区域ごとに設定して顔見知りの人を多くした、想定外の被災者やペットが多く案内しきれなかった、など様々な意見が出ました。昨年の大型台風によって、災害は突然起るものだと再認識させられました。平時にできないことは災害時にもできません。日頃から防災を意識していく良い機会となりました。

注1：〇〇に好きなモノやコトを当てはめて部活と称し、活動を楽しむことで日常生活を豊かにする市民団体です。フェイスブックをプラットフォームにして情報交換やイベントで交流をしています。

<https://www.facebook.com/urawamarubu>

(志田 小夜子)



市民企画講座とは…  
様々な分野で活動している団体から多様な能力と経験を生かした男女共同参画を推進する講座の企画を募集し、事業経費の一部を市が補助し実施していただく講座です。詳しくはパートナーシップさいたまへお問い合わせください。

## コラム

### 身近となった災害・避難所

令和元年10月12日、大型で強い台風19号は関東地方や甲信地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらした。

当口、我が家は自宅避難していたが、状況によっては避難所への移動も考えていた。しかし、台風が強くなるにつれて予期しないことが起こった。まず、防災無線が雨風にかき消されて全く聞こえない。ネットから情報を得ようとしたが市のホームページが繋がりにくくなかなか目的の情報にたどり着かない。なんとか避難指示がでていることを確認したが、避難を検討しているうちに台風の勢力がピークに達し、子どもを連れて避難するのは戸惑われる状況になり、結局避難をあきらめた。

判断が遅れた理由のひとつは、避難所での生活が明確にイメージできないことがある。避難所は本当に自宅より安全な場所なのか、確信が持てないためギリギリまで動けなかった。

後口、埼玉県の避難所はどうなっているのか調べたところ、「男女共同参画の視点を取り入れた「みんなが安心できる避難所運営」のすすめ」という冊子を作成していることを知った。その冊子の中では、例えば「男女別の更衣室・休養スペース・相談室・授乳・おむつ替えスペースの設置」などにはもちろん、「介助の必要な人や男女別トイレが利用しにくい人が使える多目的トイレも設置」、「女性トイレには、女性用品や相談窓口の案内カードをおく」などがあげられている。このように避難所に男女共同参画の視点を取り入れられていたら避難所に行く決断を早くできるかもしれない。前もって知っているという事は判断力を上げる。私もそのような避難所運営に参加していきたい。(大島 愛子)

## 相談のご案内

●相談は無料です。●秘密は厳守します。

## ●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

子ども家庭総合センター 男女共同参画相談室	☎048-711-6650
月～金/10:00～20:00 土・日・祝/10:00～16:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎048-829-6129
月・火・水・金/10:00～17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎048-840-6132
火・金/10:00～17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎048-790-0158
月・水/10:00～17:00	

## ●男性の悩み電話相談

男性の生き方、仕事、家庭、夫婦、人間関係などの相談に応じます。

男女共同参画相談室	☎048-711-6101
第2・第4火曜日/18:30～20:30(祝日は除く)	

## ●女性のDV電話相談

☎048-762-3880 月～金/10:00～17:00

## ●女性のための法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

実施場所	パートナーシップさいたま 予約電話☎048-642-8107
実施日時	第2水曜日・3月25日/13:00～15:30
実施場所	男女共同参画相談室 予約電話☎048-711-5739
実施日時	第1・第3火曜日/13:00～15:30

## ●男性のための法律相談(予約制)

弁護士が相談に応じます。

実施場所	パートナーシップさいたま 予約電話☎048-642-8107
実施日時	第4水曜日(3/25を除く)/13:00～15:30

## ●女性のための心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

男女共同参画相談室	☎048-711-5739
第4月曜日/13:30～16:15	

## 男女共同参画推進センター広報誌「鐘の音」編集員を募集します

募集人員：2名 編集員として、一緒に「鐘の音」を作ってみませんか？

任用期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

応募資格：市内在住、在勤又は在学の方

(ただし、年8回程度開催する平日の会議に出席できる方)

活動内容：編集員会議における意見交換及び原稿の作成その他編集に必要な業務に関すること

活動場所：さいたま市男女共同参画推進センター 会議室

応募方法：応募動機を800文字以内厳守で、任意の用紙に横書き(市ホームページに用紙あり。)の上、住所、氏名、(ふりがな)、年齢、電話番号を明記し、男女共同参画推進センターへ直接持参または郵送。

謝 礼：交通費相当分(編集員会議への出席1回につき1,000円)

託 児：あり(6か月以上の未就学児)ただし、損害保険料各回30円は実費負担。

令和2年  
3月18日(水)  
締切

※詳細はパートナーシップさいたまのホームページをご覧ください。



ほっとたいむ

いろいろな活動をしていて最近「手話ダンス」のグループとつながりました。

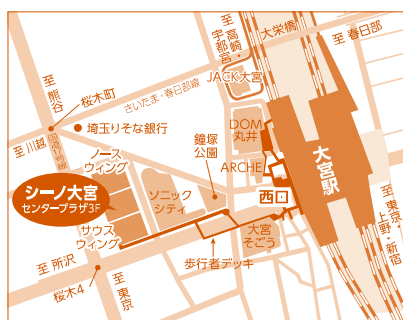
手と腕の動きで表現される目で見える言葉…素晴らしいと思います。

グループは聴覚障害のある方と耳の聞こえる方たちで小さいお子さんから80代の方まで手話と振り付けをして音楽に合わせ踊るフェスティバル(発表会)に誘われて昨年からは行くようになり、いつでも感動と元気をもらっています。

以前から手話を覚えたいと思っていましたが難しくあきらめていました。このグループの手話ダンスを見てここにいるときは手話を楽しくも思う言われるままに手と体を動かして覚えられるか的一生懸命やって、簡単な手話を2、3個覚えることができます。

手話の「カラス」は頭(黒い髪の色)を指さして鳥の形を手で表します。私の髪は白いカラスになるんだと思わず心の中で笑ってしまいました。

(武田 礼子)



JR大宮駅西口 徒歩8分

自転車でお越しの場合、シーノ大宮駐輪場が無料でご利用いただけます。



さいたま市

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。

郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままでお願いします。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.43 2020年3月1日

〈編集・発行〉

さいたま市男女共同参画推進センター(愛称：パートナーシップさいたま)

編集員/大島 愛子・志田 小夜子・新藤 賢十郎・武田 礼子

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮センタープラザ3階

電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801

E-mail : danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

◆ホームページもご覧ください◆ パートナーシップさいたま 検索

10・3月発行(年2回)

この広報誌は615,000部作成し、1部当たりの印刷経費は2.2円です。

